

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津商業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年1月25日(水)
- 3 開催場所 中津商業高等学校会議室
- 4 参加者

会長	粥川 茂和	(同窓会会長、中津川市議会議員)
副会長	成瀬 博明	(同窓会副会長、中津川商工会議所専務理事)
委員	児玉 光弘	(地域住民代表 学識経験者)
	李 瑾	(中京学院大学 准教授)
	大瀧 國嘉	(中津川市立第一中学校長)
	市川 順子	(中津川市定住推進部市民協働課主査)
	石黒かおり	(中津川市幼児教育課主査)
	久木 利道	(トーキン工業㈱ 代表取締役)
	加藤 孝盛	(PTA会長) (欠席)
	石黒 梨香	(PTA役員) (欠席)
オブザーバー	原 祐一	(前校長) (欠席)
	森 益基	(岐阜県議会議員) (欠席)
学校側	森岡 孝文	(校長)
	丸山 裕	(教頭)
	松村 勇一	(事務長)
	兼松 美穂	(教務主任)
	伊藤 則生	(生徒指導部長) (欠席)
	坂本 美和	(進路指導部長)
	新井 秀行	(保健安全部長) (欠席)
	丹羽 浩徳	(渉外部長)
	若尾 昌彦	(商業教育部長)
	勝野日菜子	(記録)

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 「課題研究」学習成果発表会の概要・プレゼン資料
- (2) 令和4年度 自己評価・学校関係者評価
- (3) 令和5年度 学校運営の方針と重点について
 - ① 学校教育目標、スクール・ポリシー、学校組織編制、各種委員会組織について
 - ② 教育課程について
 - ③ 令和5年度年間行事計画について

意見1：大変一生懸命な成果発表だった。生徒たちが充実した学校生活を過ごせていると感じた。

意見2：生徒のプレゼンが大変良かった。生徒の商品開発においては、多数決で決めていることがほとんどではあるが、実際の社会では、必ずしも多数決で決めることが出来るわけではないということを、学習の中で教えてあげた方がよい。また、多数決では面白いものがないこともある。

そのため、多数決で決めた方がいい場合とそうでない場合があるということを生徒にも知ってもらいたい。中津商業高校はいい視点で活動しているので、さらに磨きをかけてほしい。

意見3：ビジネス科流通コースの発表やその他の発表資料を見て、非常に面白いとを行っている。

これらは協力して頂いた企業の方はもちろん、先生方の指導のあり方、その努力の裏にはたくさん学びがあったと思う。また、機会があれば、先生方がどのような指導をしているのかを聞かせていただければ、この取り組みについて、さらによく理解できるのではないかと思った。

意見4：今年度の発表は特に進化を遂げ、凄く良くなっていると実感している。発表からも先生方のバックアップがあったことが伝わる。

I C T利用を推進していくことは、将来生徒たちが社会に出た時に非常によいことだと思うので、積極的に対応ができるようになればよいと思う。

ふるさと教育に関しては非常に感心した。今回は流通コースの発表のみだったが、ほかの発表もぜひ見てみたいと思った。

学生たちによる動画づくりや写真を撮る目線で、若者の目に映った中津川をアピールしてほしいと思っている。

⇒I C Tについて、全国の県で、岐阜県のように公費で全て負担してくれる県と、生徒負担の県があり、公費負担の方が割合は少ない。このように県によって違っており、岐阜県は大変恵まれている県である。

I C T環境のさらなる活用を促すためにも、生徒にアンケートを行い、充実した活用考えたい。

意見5：課題解決・情報活用力が生徒の中に生きていると感じた。

中学校に今年度も出前授業などで中津商業高校に来てもらっているが、それだけではなくジェラートのプレゼンテーションなども中学生に見せてほしい。中津商業高校は、こんなにも楽しいことをしていると伝わると思う。また、そうした機会を作ってほしい。

中学生も中津商業高校と一緒に商品開発などを行い、何か楽しみながら活動が出来たら、中学生はいろいろなことに感心が持てる。

意見6：発表者は年々よくなっている。プレゼンテーションなども、見せ方や作り方が非常によくできている。今回の発表と同じような、「地域の課題を見つけ地域の方々に協力を受けながら探求していく」といった内容の成果発表会を中津川市も行っている。大学生や高校生なども参加する発表会であり、参加することにより中津商業高校のP Rにもなるのでぜひ参加してほしい。

また、高校生の方に参加してもらえるような企画で、地元の企業の若手職員との交流会というものがある。プライベート的でアットホームな交流会で、高校生にとって地元就職を考える機会になればよいと思っているのでぜひ参加してほしい。

意見7：今回発表を拝見させていただき、非常に洗練されパワーアップしたと感じた。これから生徒自身でプレゼンテーションをするときの力になると感じた。

今年度の3年生は入学した時から、ずっとコロナ過で3年間過ごし、人とあまり接触をしてはいけないという中でジェラート3, 0 0 0個を売り上げたという事実が本当にすごいことだと思った。

今後は1、2年生がW I T Hコロナの中でどう活動していくかが、新しい課題になるかを感じる。

意見8：発表については非常によくできていた。今回の発表資料などを見させていただき、全ての内容が中身の濃いものだと実感した。目標をしっかりと作り、結果も出ている。私の会社で使わせて頂こうと思えるほどのプレゼンテーションの出来であった。

だが、学校教育の場であるから出来ていることもあるが、社会に出ると大きな壁がある。反対されたとき、自分の意見をいかに主張できるのかが大事になると考えている。

意見9：学習成果発表会については、商業高校ならではの内容であり、いずれどんな職業に就いても基本となる“商売”の基本や魅力を理解できる大変良い機会だと感じた。

今後は、単純に物を売る買うだけでなく、考え方やツールが多様化する中で更に幅広い体験が来ると良いと思う。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では、全委員より本校の令和5年度学校運営の方針と重点について承認が得られた。
- ・ふるさと教育は、学習内容もプレゼンテーションでの発表も高評価を頂いた。来年度に向けWITHコロナの中で、いかに新しい課題を見つけ学習していくことが今後の大きな課題である。
- ・中学校の部活動が変化していることが挙げられる。本校にとって部活動は学校生活の充実と切り離せない重要な位置づけとなっているが、働き方改革と関連を持たせて重要な課題として取り組みたい。
- ・ICT環境について、充実した活用をするために、積極的に研修などを行い、商業高校の枠を超えたより一層充実したDX事業等にも力を入れていきたい。
- ・地元中学校とも連携を図り、本校の活動を理解してもらえるよう、出前授業をはじめ、商品開発などの活動を積極的にPRしていきたい。
- ・地元の企業を支え地域を更に発展させる若者の育成を本校は期待されている。現在行っている地域の魅力を発見し、課題を探究する学習を通して、地域への愛情が生まれ、進学者を含めて地元就職を希望する生徒が増えていくと思う。